

トピックス 当行のこの1年間の主な活動を

野村證券(株)および第一生命保険(相)との提携の進捗についてお知らせ致します。

野村證券(株)との提携

平成10年5月 共同事業に関する合意
 当行と野村證券(株)は、日本版ビッグバンに対応し、お客様に最高水準の金融サービスを提供する為、デリバティブズなど金融新商品・新手法を提供する「Global Financial Products」及び「資産運用・管理」の2つの業務分野で、3つの共同事業を行うことで合意致しました。

9月 アイビージェイ・ノムラ・ファイナンシャル・プロダクツ証券会社の設立を決定
 当行と野村證券(株)は、「Global Financial Products事業」について、アイビージェイ・ノムラ・ファイナンシャル・プロダクツ証券会社を設立することで合意致しました。同社は、高度化、多様化するお客様のリスクヘッジ・バランスシートコントロール・運用等のニーズに対応する為、デリバティブズ等の金融新商品・新手法の提供を行います。

12月 野村興銀インベストメント・サービス(株)設立
 当行と野村證券(株)は、日本で導入が見込まれる日本版401(k)(確定拠出型年金制度)に関する事業に関し、野村興銀インベストメント・サービス(株)を設立致しました。同社は日本版401(k)を導入する企業に対するコンサルティング業務及び日本版401(k)関連の管理・事務代行(レコードキーピング)サービスを提供する中核事業会社の設立準備を行います。

平成11年5月 国内初の円建てファンド・オブ・ファンズ「トップマネジャー」の販売開始
 当行は、野村證券(株)の米国子会社であるノムラ・セキュリティーズ・グローバル・インベストメント・アドバイザーズ(NSGIA)が運用助言を行う、国内初の円建てファンド・オブ・ファンズ(投資信託に投資する投資信託)「トップマネジャー」の取り扱いを開始致しました。

6月 ノムラ・アイビージェイ・グローバル・インベストメント・アドバイザーズによる共同事業開始
 当行は、資産運用管理事業について、ノムラ・セキュリティーズ・グローバル・インベストメント・アドバイザーズに出資を行い合弁会社化し、ノムラ・アイビージェイ・グローバル・インベストメント・アドバイザーズ(NI-GIA)という新名称にて共同事業を開始致しました。同社はファンドの評価・選定、ファンド・オブ・ファンズの組成及びアドバイザー業務を行います。



写真提供：共同通信社

第一生命保険(相)との提携

平成10年10月 全面業務提携に合意
 当行と第一生命保険(相)は、日本版ビッグバンに対応し、中長期的な観点から、すべての業務分野において強固な協同関係の構築を目指す、全面業務提携を行うことで合意致しました。

11月 第三者割当増資を決定
 当行が第三者割当増資(発行総額670億円)を行い、第一生命保険(相)がこれを引き受けることを決定致しました。

12月 投資信託のクロスセリングを開始
 当行と第一生命保険(相)は、銀行及び生命保険会社の投資信託の窓口販売に際し、両社のグループ会社が運用する投資信託の相互販売を開始致しました。

協同融資案件等を成約
 当行と第一生命保険(相)は、お客様の多様化・高度化する資金調達ニーズへの機動的対応、両社のクレジット・ポートフォリオの相互補完を図る為、両社のお取引先に対して、総額350億円に上る協同融資等、3案件を実行致しました。

平成11年2月 不動産証券化商品の共同開発の第一号案件を組成
 当行と第一生命保険(相)は、第一生命保険(相)の保有する複数の優良賃貸オフィスビルに係わる不動産証券化案件を組成致しました。

4月 興銀第一フィナンシャルテクノロジー(株)設立
 当行が昨年4月に、グループ全体を視野に置いた金融先端技術・情報技術の金融への応用に関する研究・開発等を行う為に設立した興銀第一フィナンシャルテクノロジー(株)を、第一生命保険(相)との合弁事業会社とし、両グループのノウハウを結集し、金融・保険に関する研究・新テクノロジー開発を行うことと致しました。

6月 興銀エヌダブリュ・アセットマネジメント(株)日本興業投信(株)及び第一ライフ投信投資顧問(株)の合併を発表
 当行と第一生命保険(相)は、興銀エヌダブリュ・アセットマネジメント(株)日本興業投信(株)及び第一ライフ投信投資顧問(株)の3社を本年10月に合併し、新資産運用会社を両社の合弁事業として運営していくことを決定しました。新会社の総契約資産残高は5.7兆円に達し、中でも年金受託残高は投資顧問会社としては国内最大級の4.7兆円になります。



ご紹介致します。

主な活動

平成10年7月 国際金融会議「グローバル24」開催
 ドイツ銀行等と共同で、東京・フランクフルト・ロンドン・ニューヨーク等の主要金融センターをテレビ会議形式で結ぶ国際金融会議「グローバル24」を開催、アジア経済動向及び新しい時代の金融サービスをテーマに議論が行われました。

9月 アジア興銀・香港支店、中国山東省石炭火力発電所向けシンジケートローン調印
 中国山東省の石炭火力発電所建設に対するプロジェクト・ファイナンスのシンジケート・ローンに、欧州の金融機関を中心に計15行の参加を得て実行致しました。

10月 (株)小糸製作所による買収案件を仲介
 当行及び興銀グループ会社(The Bridgeford Group, The Beacon Group)をアドバイザーとして、(株)小糸製作所による米国合弁会社持ち分の買収案件が成立致しました。

12月 投信窓販業務の開始
 全国24店舗に投資信託の専用窓口を設置し、投資信託の販売を開始致しました。お客様の資産運用ニーズにきめ細かくお応えする為、優良ファンドを厳選した投信ラインナップ「IBJファンドギャラリー」を取り揃えました。

興銀ビジネス・チャレンジ(株)設立
 障害者の雇用を促進する為、障害者の人達を中心となって働く当行子会社、興銀ビジネス・チャレンジ(株)を設立致しました。

2000年問題推進委員会設立
 2000年問題に関する取組体制を強化する為、行内横断的な組織として2000年問題推進委員会を設立致しました。

平成11年1月 IBJシュローダー銀行、IBJホワイトホール銀行に名称変更
 IBJシュローダー銀行が、当行の全額出資子会社になったことに伴い、名称をIBJホワイトホール銀行に変更致しました。

日産テクシス(株)の営業譲渡を仲介
 日産自動車(株)の全額出資子会社の日産テクシス(株)がウォータージェット織機事業を(株)豊田自動織機製作所に譲渡する案件についてのアドバイスをを行いました。

中国国家開発銀行と投資銀行業務における業務提携契約を締結
 中国国家開発銀行と投資銀行業務分野における業務提携契約を締結致しました。今後、両行は中国国内のインフラ、基礎産業、ハイテク産業を中心とした産業分野において、それぞれの顧客プロジェクトに対して、共同でアドバイザー・サービスを提供致します。

3月 海外子会社による優先出資証券発行
 ケイマン諸島に設立した海外連結子会社を通じて、円建て永久非累積型優先株式1,760億円を発行、自己資本の増強を図りました。(第一生命保険(相)への第三者割当増資及び永久劣後債の発行を含めた、自助努力による平成10年度の自己資本の増強の総額は、3,070億円となりました。)

興銀証券(株)増資
 興銀証券(株)の増資株式の全額を引き受けました。これにより、同社の資本金(資本準備金を含む)は350億円増加し、700億円となりました。同社は株式業務参入に向け体制を整えるとともに、現在の業務の更なる拡充を目指します。

新日本証券(株)と和光証券(株)が合併を発表
 新日本証券(株)と和光証券(株)が来年4月の合併を発表しました。当行は、合併を踏まえて、より一層の連携強化を図る為、興銀証券(株)を含めた興銀グループで、現在の所有分と合わせ発行済み株式総数の25%取得を目処に追加出資を行う予定であることを発表致しました。

優先株式及び永久劣後債発行
 公的資金の引受により、優先株式(2種類、発行総額3,500億円)及び永久劣後債(発行総額2,500億円)を発行致しました。

4月 スリーアイ興銀バイアウト(株)設立
 英国スリーアイ社との共同出資により、スリーアイ興銀バイアウト(株)を設立致しました。同社はMBO(マネジメント・バイアウト)に関する投資アドバイス業務等を行います。

日本テレコム(株)と英BT、米AT&Tとの戦略的提携を仲介
 日本テレコム(株)と英BT、米AT&Tの間で戦略的資本提携の調印が行われましたが、当行は日本テレコム(株)のアドバイザーを務めました。

5月 新国際業務システムリリース
 海外拠点事務部門の合理化、効率化とインベストメントバンキング業務の強化を目的とした新国際業務システムを米国にてリリース致しました。同時に、営業の効率化を図る為、ニューヨーク支店・ロスアンゼルス支店に勘定、管理部門、事業部門を集約し、米国における5支店1出張所の体制を、2支店4出張所の体制と致しました。

トピックス